



絆 ～小さな学校の大きな誇り～

後期生徒総会 ～新生徒会へバトンタッチ～

11月28日(木)は**生徒総会**がありました。前期生徒会の総括をするとともに、後期生徒会の基本方針と計画を承認する会です。

これまでのスローガンは「同心協力」でした。新執行部から新スローガン「^{きょうちょう}共 挑」が提案され、無事に承認されました。「共挑」とは、新執行部曰く「仲間とともに挑み、さらなる高みへ進んでいこう」という意味です。「今まで行ったことのない新しいことにみんなで挑戦し、全校生徒一人一人の自信につなげていきたい」という思いが込められています。若者らしく、とってもいいスローガンじゃないか！と私は思います。

そもそも**生徒会は、生徒みんなの会**です。ですから、生徒同士が学校で暮らしていくための目標だったり、ルールだったり、自分たちのことを自分たちでしっかり議論して決める場が必要なはずで、それが生徒総会です。したがって**生徒会活動は、生徒の自主性や主体性を大いに発揮する場**なのです。

さて、会のはじまりにあたり、校長からは次のことを話しました。

「学校が適正な教育活動をするための根拠となる学習指導要領の中に、「生徒会活動」という項目がきちんとあります。どのように書かれているか、**目標を読みます。『異年齢の生徒同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的、実践的に取り組む』**ことです。今日はまさにその計画について話し合う場です。内容は何か。3つある。1つ『**生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営**』。つまり、『生徒が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見いだし解決するために話し合い、合意形成を図り実践する』こと。まさに今日のことです。2つ『**学校行事への協力**』です。どういうことかという、『学校行事の特質に応じて、生徒会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に主体的に協力したりする』ことです。若杉祭では協力というよりむしろ主として生徒会が運営を行っています。3つには『**ボランティア活動などの社会参画**』があり、『地域や社会の課題を見いだし、具体的な対策を考え、実践し、地域や社会に参画できるようにする』とあります。若杉祭で地域の皆さんに披露したシンガクや冬休みのボランティア活動などがこれにあたります。このように、**皆さんはしっかり生徒会活動**しています。この会を通じて、一人一人が生徒会活動にどう向き合ったら良いのかしっかり議論してください、というような内容です。

全校のリーダーシップをとるというのは、大変難しいことです。リーダーシップとは、**組織でいえば行事や企画を立案し提案するという立場に立つ**ということです。批判や評価は簡単ですが、**立案し提案することは本当に難しい**。でも、生徒会を思いをもってリードするため、よく悩み、よく議論し、湯口中のために頑張ってください！

新執行部

新専門委員長

役職	氏名	役職	氏名
生徒会長	高 橋 知 紘	応援団長	平 賀 郁 斗
副 会 長	佐々木 奏	生活委員長	宮 川 芽 久
副 会 長	照 井 正 煌	学習委員長	佐々木 優 帆
書 記 長	中 村 理 雄	保健委員長	芦 澤 碧
執行委員	久保田 陽まり	報道委員長	平 賀 雪 奈
執行委員	高 橋 瑤 葵		

*写真は11月5日（火）朝の生徒集会での新執行部への引継ぎの様子。前生徒会長の神山豪くんをはじめ執行部・各委員長・応援団長の皆さん、ありがとうございました。